

いまさら聞けない！
認知症の基礎

認知症の基礎編クイズ & ワーク

学習のねらい

認知症ケアを今よりも質の高いものとしていくために
まずは基礎知識を身につけましょう！

認知症ケア初級者は腕試しのつもりで、中級から上級者は、知識の再確認のつもりで取り組んでください。

介護者に知っておいてもらいたい現場実践のベースとなる基礎的なクイズを6問、実践力を問うワークを1題用意しました。

基礎編クイズ①

パーソンセンタードケア

Q: パーソンセンタードケアの考え方について、次の項目のうち、正しいものには○、間違っているものには×をつけなさい。

- ① イギリスの心理学者トム・キットウッドによって提唱された。
- ② 認知症の人とのコミュニケーションを重視している。
- ③ サービスを提供する専門職の目線から必要なケアを提供していくことが望ましい。
- ④ BPSDは標準化して効率的に対応すべきである。
- ⑤ 疾病の治療よりも個人の生活に焦点を当てたアプローチである。

基礎編クイズ①

パーソンセンタードケア 解答

①○

②○

③× サービスを受ける利用者が中心となってケアを選択していくことが望ましい。

④× BPSDは認知症の人からの何かのメッセージであると考え、適切な対応を探っていくことが大切である。

⑤○

基礎編クイズ①

パーソンセンタードケア 解説①

- パーソンセンタードケアとは、イギリスの心理学者トム・キットウッドが提唱した認知症ケアの概念であり、現在でも**世界中の認知症ケアの基本的な考え方**とされている。

基礎編クイズ① パーソンセンタードケア 解説②

- 疾病や身体的症状ではなく、認知症の人の**生活に焦点を当てたケア**であるため、**介護者中心**ではなく、**利用者中心のサービス**と言える。

基礎編クイズ① パーソンセンタードケア 解説③

- BPSDは、Behavioral and Psychological Symptoms of Dementiaの略で、**認知症の行動・心理症状**と訳されます。以前は、「問題行動」や「周辺症状」と呼ばれていた。

基礎編クイズ①

パーソンセンタードケア 解説④

- BPSDについては、画一的に対応するのではなく、**認知症の人の何らかのメッセージ**であるにとらえ、その人の生活歴や嗜好なども総合的に鑑みて**個別に対応**していくことが解決の糸口となる。

基礎編ワーク①

認知症の原因疾患

認知症の原因疾患としてあなたが知っている疾患名をできるだけたくさん書き出してみましよう。

基礎編ワーク①

認知症の原因疾患 解説①

- 認知症にはそれぞれ原因疾患があり、**進行の度合い、症状などが原因疾患ごとに異なる**。原因疾患は、症例の少ないものも含めると、数百種類にも及ぶ。

例) アルツハイマー型認知症、レビー小体型認知症、血管性認知症、前頭側頭型認知症、正常圧水頭症、慢性硬膜下血腫、アルコール性認知症 など

基礎編ワーク①

認知症の原因疾患 解説②

- 特に、アルツハイマー型認知症、レビー小体型認知症、血管性認知症、前頭側頭型認知症は症例が多く、四大認知症という呼ばれ方をすることもある。現場で目にするケースも多いため、それぞれの特徴や出現しやすいBPSDを押さえておくことが重要である。

基礎編クイズ②

アルツハイマー型認知症

Q:アルツハイマー型認知症について、次の項目のうち、正しいものには○、間違っているものには×をつけなさい。

- ①妄想が出現することが多い。
- ②一般的に進行は急速で階段状に症状が悪化することが多い。
- ③記憶障害は見られないことが多い。
- ④血管性認知症やレビー小体型認知症と併発することもある。
- ⑤ドネペジル(商品名アリセプト等)によって完治可能である。

基礎編クイズ②

アルツハイマー型認知症 解答

①○

②× 一般的に進行は緩やかである。

③× 記憶障害がアルツハイマー型認知症の特徴である。

④○

⑤× ドネペジル(商品名アリセプト等)など認知症治療薬によって進行を遅らせることができるが、完治することはできない。

基礎編クイズ②

アルツハイマー型認知症 解説①

- アルツハイマー型認知症では、記憶障害、見当識障害などの**認知機能障害（中核症状）**や、妄想、徘徊などの**BPSD**が出現することが多い。

基礎編クイズ②

アルツハイマー型認知症 解説②

- 症状の進行は緩やかなので、いつから始まっていたのかがわからないことが多い、離れて暮らしている家族から「気づいたら進行していた」と聞かされることもある。

基礎編クイズ②

アルツハイマー型認知症 解説③

- 特に初期の段階で薬物療法が効果的であるが、あくまでも進行を遅らせる薬であるため、完治には至らない。

基礎編クイズ③

血管性認知症

Q: 血管性認知症について、次の項目のうち、正しいものには○、間違っているものには×をつけなさい。

- ① 急激に発症し、段階的に悪化することが多い。
- ② 脳梗塞が原因で発症した血管性認知症に対しては、血液凝固薬が治療薬として用いられる。
- ③ 脳梗塞や脳出血をきっかけに発症する。
- ④ 脳の障害部位や程度が違って同じような症状が出現する。
- ⑤ 症状の日内変動はそれほど見られない。

基礎編クイズ③

血管性認知症 解答

①○

②× 血液循環を改善したり、血液が固まりにくくする薬剤が用いられる。

③○

④× 障害部位や大きさによって出現する症状の種類や重症度が大きく変わる。

⑤× 時間によって症状が変化する日内変動がみられる。

基礎編クイズ③

血管性認知症 解説①

- 血管性認知症は、**脳梗塞や脳出血をきっかけ**にして認知症が発症する。

基礎編クイズ③

血管性認知症 解説②

- 急激に発症し、梗塞を繰り返す度に、階段状に症状が悪化するため、脳梗塞の既往がある高齢者は特に日頃の観察が重要となる。

基礎編クイズ③

血管性認知症 解説③

- 脳梗塞などの後遺症により、麻痺、嚥下障害、構音障害などの**身体的症状が残る**ことがよくある。

基礎編クイズ③

血管性認知症 解説④

- 時間によって症状が変化する**日内変動**や、日によって症状が変化する**日差変動**がある。

基礎編クイズ④

レビー小体型認知症

Q: レビー小体型認知症について、次の項目のうち、正しいものには○、間違っているものには×をつけなさい。

- ① 脳内のレビー小体という物質が急激に減少することで出現する。
- ② 身体的な症状が出現することはほとんどない。
- ③ 幻視がよくみられる。
- ④ 抗精神病薬が効きにくくなる。
- ⑤ 症状の日内変動がよくみられる。

基礎編クイズ④

レビー小体型認知症 解答

- ①× 脳内にレビー小体が溜まることが原因である。
- ②× パーキンソン症状が特徴的である。
- ③○
- ④× 抗精神病薬の副作用が出現しやすくなる。
- ⑤○

基礎編クイズ④

レビー小体型認知症 解説①

- レビー小体型認知症は、脳内に**レビー小体**という物質が**蓄積**されていくことで出現する認知症である。

基礎編クイズ④

レビー小体型認知症 解説②

- 他の認知症と比べると、**パーキンソン**
症状や**幻視**が出現しやすいため、歩
行などには注意する必要がある。

基礎編クイズ④ レビー小体型認知症 解説③

- **抗精神病薬の副作用が出現しやすい**ので、特に服薬後は観察が必要である。

基礎編クイズ④

レビー小体型認知症 解説④

- 時間によって症状が変化する**日内変動**や、日によって症状が変化する**日差変動**がある。

基礎編クイズ⑤

前頭側頭型認知症

Q: 前頭側頭型認知症について、次の項目のうち、正しいものには○、間違っているものには×をつけなさい。

- ① 同じ行動や動作を繰り返してしまう症状がみられる。
- ② 病識を持っていることが多い。
- ③ ちょっとした刺激に興味や関心が移ってしまうことが多い。
- ④ 時刻表的な生活を好むようになる。
- ⑤ 社会的な規範は保たれるので、犯罪など反社会的行為を引き起こすことはほとんど見られない。

基礎編クイズ⑤

前頭側頭型認知症 解答

①○

②× 病識を持っていることは少ない。

③○

④○

⑤× 周りの状況に流されず、我が道を行く行動をしてしまうので、時に万引きや交通ルールを無視するような反社会的な行動をとってしまうことが見られる。

基礎編クイズ⑤

前頭側頭型認知症 解説①

• 前頭側頭型認知症は、以下の症状が特徴的である。

- ① 同じ行動を繰り返す(常同的行動)
- ② 病的な規則正しさ(時刻表的生活)
- ③ 自分の行動にブレーキをかけられない(脱抑制)
- ④ 他者への無関心
- ⑤ 些細な刺激によって興味や関心が移り替わる

基礎編クイズ⑤

前頭側頭型認知症 解説②

- 前頭側頭型認知症の**特徴を活かしたケア計画を工夫**することによって、被介護者、介護者双方にとって負担の少ない生活を送ることも可能になる。

基礎編クイズ⑤

前頭側頭型認知症 解説③

- 時間によって症状が変化する**日内変動**や、日によって症状が変化する**日差変動**がある。

基礎編クイズ⑥

認知機能障害（中核症状）とBPSD

Q: 次の症状をそれぞれ認知機能障害（中核症状）とBPSDに分けなさい。

- ①徘徊 ②注意障害 ③記憶障害 ④失語
- ⑤睡眠障害 ⑥幻覚 ⑦介護への抵抗
- ⑧見当識障害 ⑨妄想 ⑩実行機能障害
- ⑪暴言・暴力 ⑫異食

基礎編クイズ⑥

認知機能障害（中核症状）とBPSD

解答

認知機能障害（中核症状）

- ②注意障害 ③記憶障害 ④失語
⑧見当識障害 ⑩実行機能障害

BPSD

- ①徘徊 ⑤睡眠障害 ⑥幻覚 ⑦介護への抵抗
⑨妄想 ⑪暴言・暴力 ⑫異食

基礎編クイズ⑥

認知機能障害（中核症状）とBPSD 解説①

- 「認知機能障害（中核症状）」は**脳の神経細胞が壊れたり、脳の働きが低下することによって起こる症状である。**

基礎編クイズ⑥

認知機能障害（中核症状）とBPSD

解説②

- 「BPSD」は、「認知機能障害（中核症状）」に身体的・心理的要因、環境などが影響して出現する。

基礎編クイズ⑥

認知機能障害（中核症状）とBPSD 解説③

- 「認知機能障害（中核症状）」は不可逆的だが、「BPSD」はケアやかかわりによって軽減させることができる。